

第26回 東北日本の旧石器文化を語る会宮城大会開催要項

- 1 日時 2012年12月22日(土)・23日(日)
- 2 会場 東北大学片平さくらホール
- 3 主催 東北日本の旧石器文化を語る会
- 4 共催 東北大学総合学術博物館、東北大学大学院文学研究科
- 5 日程

【1日目】12月22日(土)

開会 13:00

講演 13:10~14:10 「한국 후기구석기시대 후반 석기군의 성격

(韓国後期旧石器時代後半石器群の性格)」

李起吉 朝鮮大学校教授(東北大学総合学術博物館客員教授)

通訳 洪惠媛(東北大学大学院博士後期課程)

ミニシンポジウム「動作連鎖と技術組織の理論と実践」

報告 14:20~14:45 「技術組織論・動作連鎖論の人類学的背景と考古学的適用」
阿子島 香(東北大学)

14:45~15:10 「笹山原遺跡 No.16 第3石器集中の動作連鎖仮説に基づいた
石器技術研究序説」
會田容弘(郡山女子大学短期大学部)

15:10~15:35 「新潟県吉ヶ沢遺跡における石刃の接合資料」
澤田 敦(新潟県教育庁)

15:45~16:10 「石器作りの「上手・下手」の客観的評価—新潟県荒屋遺跡
出土の彫刻刀形石器における使用と刃部再生の技術組織—」
鹿又喜隆(東北大学)

16:10~16:35 「動作連鎖の概念に基づく技術学におけるテクニクの同定
法 —山形県高瀬山遺跡出土杉久保型ナイフ形石器群の石
刃剥離のテクニク同定を例に—」
大場正善((公財)山形県埋蔵文化財センター)

討論・質疑応答 16:35~17:00

資料検討会 17:00~17:30

懇親会 18:30~20:30 さくらキッチン(東北大学片平キャンパス食堂)

【2日目】12月23日(日)

開会 9:00

話題提供「東北日本における旧石器時代遺跡の調査」

9:10~9:30 「山形県高倉山遺跡第3次調査」(東北大学)

- 9：30～9：50 「福島県笹山原 No.16 遺跡第 12 次調査」（郡山女子大学）
9：50～10：10 「福島県赤柴遺跡」（財団法人福島県文化振興財団）
10：20～10：40 「新潟県真人原遺跡 D 地点第 3 次調査」（首都大学東京）
10：40～11：00 「青森県安部遺跡（尻労安部洞窟）」（慶応大学）

資料検討会 11：30～12：30

6 資料検討会への資料持ち込みについて

石器・石材サンプル等の持ち込みを歓迎します。

7 参加申し込み・会費等

・参加希望者は12月7日までに下記あてにお申込みください。懇親会への参加・不参加を必ず添えてください。連絡はなるべく e-mail をお願いします。

・参加費は 1,000 円、発表要旨集代 1,000 円（予定）を当日受付で申し受けます。

・懇親会費は 4,500 円程度の予定です。参加される方は当日受付でお預かりします。

申し込み先：第 26 回宮城大会事務局 鹿又喜隆

〒980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 東北大学考古学研究室

Tel. 022-795-6071

e-mail kanomata@sal.tohoku.ac.jp

8 駐車場について

会場の片平キャンパス内には駐車場はありませんので、ご注意ください。

9 宿泊

斡旋はいたしませんので、各自で手配をお願いします。

10 会場について

位置と交通は下記のホームページをご参照ください。

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/about/10/about1002/index.html>

*仙台市「地底の森ミュージアム」では、仙台市・光州広域市国際姉妹都市締結 10 周年を記念して、企画展「氷河期の人類－石器と遺跡からみる仙台と韓国光州」を開催中です。